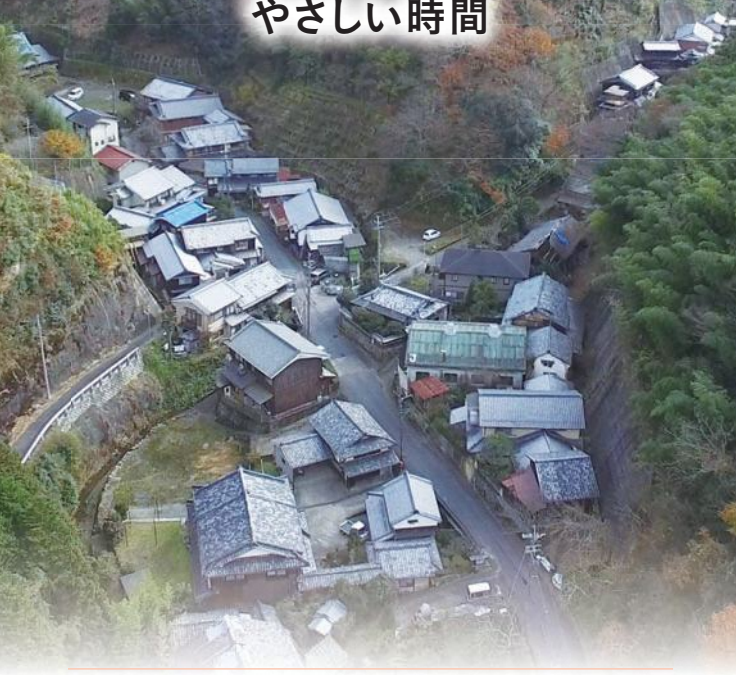




ようこそ「やんたん」へ

お茶の郷で過ごす  
やさしい時間



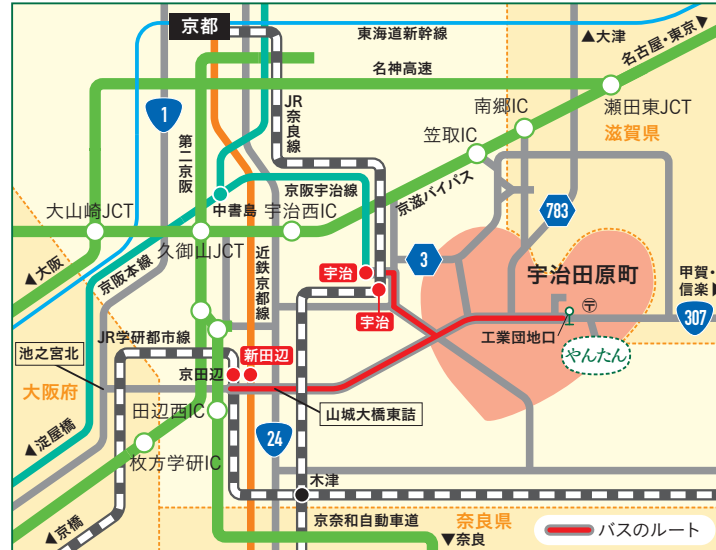
お茶のまち宇治田原町。その南東部に位置し、地元では「やんたん」と呼ばれている「湯屋谷」は、日本緑茶が生まれたところです。4つの谷を歩いて巡れば、お茶どころの歴史やのどかな風景、人

とのふれあいが待っています。心をゆっくり元気にしてくれる、そんな「やんたん」に出かけませんか。

宇治田原町

やんたん  
湯屋谷

## 宇治田原町・湯屋谷への交通アクセス



### 鉄道・バス

京都	JR奈良線(快速)約20分	宇治		
	近鉄京都線(急行)約25分	新田辺		
奈良	JR奈良線(快速)約30分	宇治		
	近鉄京都線(急行)約30分	新田辺		
祇園四条	京阪本線(特急)約15分	中書島	京阪宇治線約15分	宇治
淀屋橋	京阪本線(特急)約40分			

宇治・新田辺駅より京都京阪バス「工業団地行き」「緑苑坂行き」に乗りし「工業団地口」バス停下車(所要時間の目安…約35分)

※バスの本数は限られますので事前の時刻表確認をおすすめします

「工業団地口」バス停からの主なスポットへの所要時間

▶宗円交流庵やんたん…徒歩約23分 ▶永谷宗円生家…徒歩約37分

### 自動車

#### 名古屋方面よりお越しの方

・名神高速道路「瀬田東」JCT▶京滋バイパス▶「南郷」ICから約20分

#### 大阪方面よりお越しの方

・名神高速道路「大山崎」JCT▶京滋バイパス▶「宇治西」ICから約25分  
・名神高速道路「大山崎」JCT▶京滋バイパス▶「笠取」ICから約20分

#### 大阪(枚方)方面よりお越しの方

・第二京阪道路「枚方学研IC」▶国道307号(京田辺方面)へ約35分  
・国道1号を北上▶池之宮北交差点で国道307号へ約45分

#### 奈良方面よりお越しの方

・国道24号を北上▶山城大橋東詰交差点を右折(甲賀方面)し、国道307号で約15分または京奈和自動車道「田辺西」ICから国道307号で約20分

#### 発行

宇治田原町 産業観光課  
TEL 0774-88-6638

2020年3月



宗円交流庵やんたん



観光情報サイト



移住サイト



お茶の京都

日本遺産

日本遺産

# やんたん 散策マップ

宇治田原町・  
湯屋谷エリア



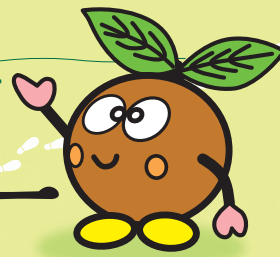


お茶からひも解く日本遺産の町

# 宇治田原町 湯屋谷ヒストリー

宇治田原町マスコット

茶ッピー



※日本遺産(Japan Heritage)とは

地域の歴史的魅力や特色を通じ、日本の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産(Japan Heritage)として文化庁が認定するもの。ストーリーを語る上で欠かすことのできない文化財群(有形・無形問わず)を、地域が主体となって整備・活用。そして国内外へと発信し、地域活性化の推進を目指します。宇治田原町の湯屋谷もストーリーに組み込まれた「日本茶800年の歴史散歩」(京都府)は、平成27年4月、日本遺産(Japan Heritage)第1号に認定されました。

## ヒストリー1

### お茶栽培は大福谷からスタート!

宇治茶の主要産地「宇治田原町」。鎌倉時代、京都洛西・高山寺を再興したことで有名な明恵上人の弟子によってこの地に栽培方法がもたらされたといわれます。最初に茶の木が植えられたのは、霊峰・鷲峰山のふもとに広がる谷あい・大福谷の奥地。周囲の樹木で風や日光がほどよく遮



山々に囲まれた大福谷エリア

られ、霜が降りず、栽培に適した環境であったことから、大福谷のお茶は評判を呼び、幕府や宮中にも献じられたと伝わります。

## ヒストリー2

### 緑茶の生みの親は湯屋谷にいた!

今、一般的に飲まれている緑茶。ところが、民衆にお茶が広まった江戸時代、庶民が口にできたお茶は、香りも味も粗末な茶色いお茶だったそうです。そんなお茶事情に変化をもたらした人物が、宇治田原町の湯屋谷で茶業を営んでいた永谷宗円です。宗円は15年かけてお茶の製法を研究し、1738



永谷宗円(妙楽寺蔵)

(元文3)年、ついに色・味・香りに優れた緑色のお茶を生み出します。宗円は江戸に上り、茶商・山本嘉兵衛(のちの山本山)を通じて販売。「天下一」という名で、たちまち大流行しました。宗円はこの製法を独占することなく、多くの人に教え全国へと広めたそうです。この製法は「青製煎茶製法」と呼ばれ、今日の日本緑茶の製法の礎となりました。



永谷宗円生家

現在、湯屋谷の奥地にある宗円の出生地では、生家が復元され、茶葉の製造に使った焙炉跡を見ることができます。毎年5月には「新茶まつり」が開催され、生家周囲の茶畑で茶摘みや製茶体験



生家の内部

などができます。隣の茶宗明神社では、宗円の功績をたたえ、茶宗明神として宗円を祀っています。



焙炉を使った茶葉づくり



茶宗明神社

永谷宗円生家 ながたにそうえんせいか

●緑喜郡宇治田原町湯屋谷空広 ●☎0774-46-8864(宗円交遊庵やんたん)

●10:00~15:00(内部公開は土日祝のみ) ●入場料(維持管理協力金)100円

## ヒストリー3

### 日本遺産の町並み!

宗円による煎茶の流行を受け、湯屋谷の茶産業は大きく発展。山あいの細い谷筋に形成された集落にも関わらず、大きな茶問屋や茶農家が軒を連ねる町並みを見れば、当時の隆盛が伝わってきます。現在もその姿を色濃く残していることから、湯屋谷一帯は永谷宗円生家とともに「日本遺産(※)」の構成資産に認定されました。石垣の上に家が建ち、茶畑や木造の茶工場が点在する独特な景観は、レトロなムードたっぷりです。



三階建ての茶工場



印象的な石垣が多い

### お茶以外の魅力も満載!

日本茶の歴史と深く結びついた湯屋谷の魅力は、お茶だけにとどまりません。太古は海の底だったことから貝の化石が採掘されたり、温泉が湧いた時代があったり(現在は冷泉)、多彩な歴史を歩んでいます。またサンショウオオモすむという町内最大の滝「大滝」や、江戸時代から続く伝統行事、地元のグルメ店にも近年注目が集まっています。喧騒から離れ、おだやかな時が流れる谷あいの里。歴史の足跡に触れながら、ゆったりとお過ごしください。



湯舎原里温泉之全図

文明18年(1486年)に描かれた地図の写しで、当時の湯屋谷にあった温泉の位置が示されている



# やんたん 散策マップ

宇治田原町で最初の茶の木が植えられたと伝わる付近に建つ看板。この看板の裏の山中には寺の遺構と思われる石垣も残る。

宇治田原茶発祥の地

足場の悪い道なので  
歩行注意

「家康伊賀越えの道」の看板が建つ後ろ側一帯が宇治田原町で最初に茶づくりがはじまったと伝わるエリア

ここより先は狩猟も行われるような山の中に入るため入山の場合は十分な登山装備を

生活道路なので  
歩く時は車に  
気をつけて!



## 立ち寄りグルメ

### A 高田通泉園



一番人気はほうじ茶ソフト。5月は新茶ソフトも登場。9:00~18:00(日祝10:00~)/年末年始休/0774-88-3939

### B そば処 実り



手打ち蕎麦が楽しめるお店。陶芸体験も実施。11:30~15:00/木金土日祝のみ営業(陶芸体験は水に実施・要予約)/090-2389-9859

### C リンデンbaum



地元野菜もたっぷり使った洋食は遠方からのファンも多数。11:00~15:00(L.O.14:30)、17:00~21:00(L.O.20:30)/火休/0774-88-2647

### D 宗円交遊庵やんたん あばんずキッチン



週末限定の茶汁セットがオススメ! 宇治茶セットや、抹茶やほうじ茶のスイーツ、茶そばなど、お茶を使ったメニューも多彩。10:00~17:00(11月~2月 10:00~16:00)茶汁セットは土日祝日の11:00~14:00限定/水木定休日/0774-46-8864

## 日本緑茶の歴史を感じる 宗円街道コース

石積みの家屋や茶問屋、茶畑などお茶にまつわるスポットを巡るコース。



永谷宗円生家 (詳細は歴史のページにて)

### モデルコース 1

約4km

- 工業団地口
- ↓ 徒歩23分
- 1 湯屋谷会館  
宗円交遊庵やんたん
- ↓ 徒歩7分
- 2 冷泉
- ↓ 徒歩12分
- 3 大福谷
- ↓ 徒歩6分
- 4 宇治田原茶発祥の地
- ↓ 徒歩19分
- 5 永谷宗円生家・茶宗明神社
- ↓ 徒歩14分
- 1 湯屋谷会館  
宗円交遊庵やんたん

## 森林浴も楽しむ 大滝街道コース

永谷宗円生家と一緒に鷲峰山を水源とした「大滝」でマイナスイオンも満喫。



大滝に祀られたお不動さん

### モデルコース 2

約6km

- 工業団地口
- ↓ 徒歩23分
- 1 湯屋谷会館  
宗円交遊庵やんたん
- ↓ 徒歩9分
- 2 長福寺
- ↓ 徒歩29分
- 3 大滝
- ↓ 徒歩23分
- 4 赤ヶ尾 入口
- ↓ 徒歩9分
- 5 永谷宗円生家・茶宗明神社
- ↓ 徒歩14分
- 1 湯屋谷会館  
宗円交遊庵やんたん

※所要時間は3.2km/時

## 湯屋谷の 行事

### 永谷宗円生家新茶まつり

(5月上・中旬の日曜) 永谷宗円生家 生家の茶畑で茶摘み体験、新芽を使った製茶体験、煎茶やおにぎりのふるまいなど充実した体験型イベント。

### 灯笼張りつとやんたん灯りまつり

(8月中・下旬) 長福寺 灯笼に野菜でつくった干支を飾り狂言を書き入れた奉納する「灯笼張り」は江戸末期から続く伝統行事。近年は「やんたん灯りまつり」も併催。

### 大瀧祭

(9/1) 大瀧 江戸時代から行われていたと伝わる雨乞いの儀式。祝詞奏上その後、酒を飲ませた鰻を滝つぼへ放ちます。

### 新春手揉み茶奉納

(12/31~1/1) 永谷宗円生家 お茶の伝統製法・手揉みを一般公開(例年21時~翌2時頃)。完成後は隣接の茶宗明神社へ奉納。



谷村松重園

大福茶園  
2022年まで  
整備工事中

307

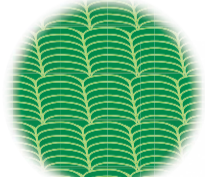
茶工場が並ぶ小道



お茶色の交通標識

茶畑の中には  
入らないように  
お願いします

## 茶畑



スマホのアプリで読み取って  
ご覧いただけます

家康伊賀越えの道マップ・  
鷲峰山登山マップなど

湯屋谷の紹介動画  
「やんたんものがたり」



モデル1  
モデル2

## 家康伊賀越えの道

「本能寺の変」後、徳川家康が堺から三河へ戻る時に通ったといわれる歴史的な道

町の西側へ続く山道でかつてはこの道を行き来した

黒豆坂の道標

工業団地配水池

尚美園製茶場

中畑茶園

工業団地

桜が咲く  
山際の小道

公園

日本遺産の看板

句碑

永谷茶業

安井園製茶工場

句碑

上り坂

句碑

宇治田原郵便局

浅田香園

緑苑坂経由

宇治・  
城陽・京田辺

「工業団地口」バス停  
工業団地経由  
コンビニ

行先によりバス停  
が異なるため時刻  
確認がベター

駐車場に  
あるきれいな  
トイレ

高田通泉園

句碑

句碑

句碑

句碑

句碑

鷲峰山  
(じゅふせん)

修験道の山として有名な霊峰。  
山の水は町へ流れ込み、おいしい茶  
葉やお米、野菜づくりに役立っている。

3 大滝



大滝に近づくとも木々に  
囲まれた道が続く

お地藏さん

大滝街道  
中谷(なかんたん)

上り坂

鷲峰山街道  
西谷(にしたん)

道にチェーンがかかり、ここから山方面は車両通行禁止

●牛尾の滝  
茶臼岩

茶臼づくりに使われたといわれる巨岩で、その奥側に「牛尾の滝」が流れている(滝の近くに行くことは困難)

町の人に会ったら  
あいさつをしよう!  
おしゃべりが弾むかも!



## 家康伊賀越えの道

「本能寺の変」後、徳川家康が堺から三河へ戻る時に通ったといわれる歴史的な道

町の西側へ続く山道でかつてはこの道を行き来した

黒豆坂の道標

工業団地配水池

尚美園製茶場

中畑茶園

工業団地

桜が咲く  
山際の小道

公園

日本遺産の看板

句碑

永谷茶業

安井園製茶工場

句碑

上り坂

句碑

宇治田原郵便局

浅田香園

緑苑坂経由

宇治・  
城陽・京田辺

「工業団地口」バス停  
工業団地経由  
コンビニ

行先によりバス停  
が異なるため時刻  
確認がベター

駐車場に  
あるきれいな  
トイレ

高田通泉園

句碑

句碑

句碑

句碑

句碑